

## 鳥は、どうして V 字をつかって飛ぶのでしょうか？

私事になり恐縮ですが、先日の夕方、5歳になる娘と散歩をしていました。娘は、本を読むことが大好きで、家を出るなり「おとうさん、セントビンセント及びグレナディーン諸島の国旗ってカッコいいよねえ。」と言いました。(右の国旗です。)私は「そうなんだね。お家へ帰って一緒に調べようね。」と言いました。(いつも聞かれたことには、一緒に調べるように心がけています。)そして、次に娘の興味は空へと向きました。「ねえねえ、おとうさん。鳥はどうしてあんな形をして飛ぶの？ 変な形だよねえ。」それは、私が中学3年生を担当するたびに、生徒達に右下のような写真を見せながら、話すことでした。娘には、「鳥さん達は、たくさんのお友達とあの形をつかって、助け合って遠くまで飛んでいくんだよ。ほら見てみて、一番前を飛んでいた鳥が、一番後ろに行ったよ。あれは、疲れたからなんだよ。」と言いました。娘は、「ふーん。」と言って「1、2、3、・・・」と鳥を一生懸命数えていました。

ガンのように、冬になると南に向かう鳥は、右の写真のような隊形をつかって、長い旅をします。

V字型のフォーメーションは、**仲間を絶えず視野に入れることができ、衝突を防ぎ、エネルギーを節約できます。**羽ばたく翼の周りに発生する空気の流れは、翼を上下動させることによって空気を押し、前に進みます。この翼の渦が発生する上昇流をうまく捉えると、体を持上げる力が発生します。そのため、**後ろの鳥は、飛ぶために必要なエネルギーが少なく済みます。**例えば、**単独で飛行するのに比べ、30羽で飛ぶと、同じエネルギーで約70%も飛行距離を伸ばせるそうです。**先頭の鳥は、その渦を発生させ、後ろの仲間を助けるので**疲れ**ます。なので、**鳥たちは、頻繁に先頭を入れ替えながら、長い旅をします。**目的地(目標)に向かって、仲間と助け合う鳥達、何だか『進路実現』に向けて、クラスで助け合っている皆さんに重なるものを感じるのは、私だけでしょうか。

## 第4回総合テストが終わり、教育相談が行われています！

今月11日に『第4回総合テスト』が行われ、結果も渡されました。そして、これまでの総合テストの結果などから、進路を中心とした『教育相談』が行われました。皆さんは、自分の進路について十分に担任の先生と話ができたでしょうか。12月2日からは、『保護者懇談会』も始まります。事前に、家族の方としっかり話をしておいて欲しいと思います。中には、迷い悩んでいる人もいます。そうした人たちの背中を前向きに押せたらと思い、書きたいことがあります。

今から十数年前に、ある予備校の講師が言った「いつやるか？ 今でしょ！」という言葉が大ヒットしました。多くの受験生に生活の指針として考えたキャッチフレーズです。その約25年前には、京都の大徳寺大仙院の尾関宗園和尚さんが、「**今こそ出発点 いま頑張らずしていつ頑張る!**」と説いていました。

(私は、修学旅行のクラス別行動で大徳寺大仙院を訪れ、事前をお願いして書いて頂いたものを3年の2学期頃からクラスに掲示してきました。)私達はとかく「明日から頑張ればいいや。」と思いがちです、「**今こそ頑張る。**」(何をどう頑張るかは、『教育相談』で話されたと思います。)という強い決意が、将来の自分にとって大切だと思います。

